

長若土砂崩れ被害者救援、子どもへの国保均等割り軽減、放課後デイサービス実現は緊急課題！ 役場庁舎、水道広域化問題・建設費等の正確な金額提示を！

2045年の国の人口推計では小鹿野町 5488 人、子育て支援拡充、仕事づくり支援で人口維持を

6月定例議会報告

6月定例議会が6月12日から14日の日程で開催されました。議会では一般質問7名、補正予算、条例改正・廃止、請願などが審議されました。一般質問では6名が、4月5月に実施された町政懇談会の内容をめぐり質問したのが特徴的です。日本共産党の出浦正夫議員は町民の皆さんの声、寄せられた要望などをもとに質問を行いました。

長若土砂崩れ問題、町長、県知事に

要請書提出、被害者への補償を

長若土砂崩れ問題、発生から8か月、被害者への補償はほとんど進んでいません。3月議会でも出浦議員は県の出先ではなく県知事に直接解決に向けて要請することを要求。

町長は4月11日、県庁に赴き知事宛要請書を提出。今のところ文書等での県からの回答はないとのこと。県には埋め立てを許可、完了検査後の土砂埋め立てを黙認し、その結果、大規模な崩落を引き起こした責任があります。

一部の被害者には補償がありましたが大きな被害を受けた方には補償がありません。町は、「民と民の問題だから」との立場ですが、「町民が多大な被害を受けている訳ですから被害者の立場に立ち補償をさせるべきだ」と出浦議員は主張しました。

町、崩落残土の埋め立てを許可

崩落し長留川右岸の農地に積み上げている土を撤去するため、埋め立て業者から町に提出されていた新たな埋め立て許可申請、町は6月5日付で許可。

出浦議員は、「今度の埋め立ては町の責任で許可したものでしつかり監視する必要がある。」と指摘。

他所からの残土搬入は認めないとの条件が付いてあり問題がおこらないよう監視していくとの答弁がありました。町民も注意深く監視していくことが重要です。

町民の声を聴く町政懇談会開催

出浦議員は「町政懇談会18回すべてに参加、町民のみなさんの声を聴かせてもらったが切実な声がたくさん出されている。」と発言。これまでの中学校統合説明会での住民排除、水道広域化では覚書調印後に町政懇談会を開催などの問題点

が在ったことを指摘しました。今回の開催は町民の生の声をじかに聞き、町政に反映するということなので評価できるとしました。

役場庁舎問題では全体費用等を精査して説明する必要

査して説明する必要

役場庁舎問題では会場で資料配布、説明。意見を問われても出しにくいのではないか指摘。当局も今後検討するつもりです。

町長は懇談会の補足説明で「現在地に木造平屋建て2000㎡程度の庁舎を建設したい。費用は9億円、三田川中改修工事には6億円。耐用年数を考えると新築の方が有利。」と発言しました。懇談会の中でも、現庁舎の解体費用、移転費用、三田川中改修工事の内容等明らかにしてほしい旨の意見が出されています。出浦議員がその点を質問すると町長は全体を精査してから説明する必要があると改めて検討し説明するつもりです。

また出浦議員は懇談会の中でも急いで結論を出す必要はないとの意見があったことを受け、「本年度予算に役場庁舎整備事業費3100万円余が計上してあるから急いで基本構想、基本設計を行うことはしない方がよい。」と発言。町長は「いずれにしても慎重に検討していく。」と答弁しました。27年後には人口が現在の半分になるという推計があります。庁舎問題も町民の知恵を集めることが重要です。

おがの民報 NO.33

日本共産党小鹿野町委員会

6月定例議会報告

2018年7月15日(日)

TEL (79) 0036

水道広域化で料金値上げが心配の声、小鹿野・三山・浦島浄水場の再取得価格は34億円？これまでの説明と金額の差がありすぎるのは何故

懇談会における水道問題の説明では出資債の仕組みの説明が中心でした。町民の意見では「料金が値上げになるのが心配」「値上げになつたら年金生活では払いきれないどうすれば良いのか」などが出されました。

出浦議員がこの点を質問すると町長は、「一般会計からの補てん等で激変緩和措置ができないか検討したい」と答弁しました。

出浦議員が説明資料の中に小鹿野・三山・浦島浄水場の再取得価格は34億円とあるその内訳を質問しました。副町長が「3浄水場合計で31億円、5カ所の配水池で3億円」と答弁しました。さらに3浄水場の金額を個別に明らかにするよう求めましたが答えませんでした。

これまで議会に説明した金額と余りに違いすぎる、精査が必要と出浦議員は語っています。

水道工事はすべて料金と出資債などの税金で賄われま

す。町長は、私からも明らかにするよう水道局に求めますと答弁しました。

子育て支援策の充

実を求め

秩父特別支援学校へ通学する児童生徒の放課後デイサービスが実現できないか

との出浦議員の質問に「必要性については重々承知していますが設置するとの考えには至っていないのが実情です。」との答弁がありました。出浦議員が保護者の声を聴く、実情を調べる等の努力が必要なのではないかと重ねて質問すると町長からは「多くの在住者が通学しているわけですから出浦議員の提案も含めて検討してまいります。」との答弁がありました。

安心して放課後を過ごし、発達が保障される放課後デイの実現に向けて今後も働きかけたいと出浦議員は語っています。

学童保育料、年間を通じ低学年6000円、高学年5000円に

これまで7月は低学年7000円、高学年6000円、8月は低学年8000円、高学年7000円でしたが条例改正により年間を通じ低学年6000円、高学年5000円となりました。子育て支援策の前進となりました。

国保税、子どもの均等割りについて減免制度の実現を

子どもへの均等割り賦課については前から問題点を指摘してきましたが、減免制度ができないか質問しました。「均等割りは所得等に応じた減免措置はあるものの子どもが多い世帯ほど負担が増す傾向にあります。そこで、少子化社会への対応と子育て支援の立場から町独自の多子世帯減免制度として、平成31年度からの実施に向け調査・研究を重ね、当町の実状にあった減免制度として実施できるような引き続き検討してまいります。」との答弁がありました。実現に向け一層のご努力を期待します。

日本共産党 出浦正夫町議

議会報告会のお知らせ

日時：7月18日(水)

午後7時00分～

会場：

小鹿野文化センター2階

紙面では書ききれない町政の

課題も報告します。

皆さん方の声、提案もお聞かせ

ください。

皆さんどうぞご参加ください。